

守ろう！ 受動喫煙から 子どもを



令和3年
3月1日
施行

山形市 子どもの受動喫煙防止条例 2021年3月から始まりました。

受動喫煙から子どもの健やかな成長を守るために新しい条例が始まりました。
東北北海道では初の条例です。議員提案条例で全議員の賛成で制定された条例です。



主な内容

- 市民は、受動喫煙の悪影響を理解し、子どもの受動喫煙防止に努めなければなりません。
- 子どもが同乗している自動車内や公園、学校周囲や医療機関、児童福祉施設、及び、その周囲道路でも、子どもの受動喫煙防止のために喫煙をやめるように努めます。
- 加熱式タバコも、同様に規制の対象です。

詳しくは



山形県医師会

山形県歯科医師会

山形県薬剤師会

山形県看護協会

私たちは県民の健康を守るために、「受動喫煙ゼロの山形県」を目指して活動しています





学校、児童福祉施設、医院などの周辺の路上でもタバコ STOP!

受動喫煙によって日本で死亡する人は **1.5万人**と推定されています。
わずかな受動喫煙でも、周囲の人の健康に重大な影響を及ぼします。
とりわけ子どもへの影響は大きく、将来の病気の原因となります。自らの意志で受動喫煙を避けることが難しい子どもを守るのは、**大人の責務**です。子どもがいる家庭ではタバコを止めましょう。

小学校6年生家庭の喫煙率

48%

山形市子どもの受動喫煙に関するアンケート調査結果(6年生)での家族の喫煙率。

▲山形市子どもの受動喫煙に関するアンケート調査結果(6年生)から

タバコの煙が「イヤ」と感じる割合

86%

近くでタバコを吸われた時に子どもが、「嫌い」「イヤ」と感じる割合。

▲山形市子どもの受動喫煙に関するアンケート調査結果から

親の喫煙は自分で10年吸うのと同じリスク

10年

53歳時点 COPD(肺気腫)になるリスク調査。
親による受動喫煙の方が、自分で10年吸うより、将来、COPD(肺気腫)になるリスクが高くなります。

▲ AnnalsATS Volume 15 Number 9|1057P ~ September 2018

子どものむし歯リスク

2倍

受動喫煙によって、子どものむし歯は約2倍に増加します。

▲田中司朗、京都大学 BMJ 2015;351:h5397

家の外で吸ってもNO! 受動喫煙は避けられません

家のなかで吸うと、子どもの尿中のコチニン(ニコチン分解物)は15倍。外で吸っても2.4倍上昇します。換気扇下も同様です。加熱式タバコでも受動喫煙は避けられません。

▲Pediatrics. 2004 Apr;113(4):e291-5.

山形県医師会、山形県歯科医師会、山形県薬剤師会、山形県看護協会は、**山形市の子どもの受動喫煙防止条例**を応援しています。

条例全文については右記のホームページに掲載しています。[山形市子どもの受動喫煙防止条例 検索](http://www.city.yamagata-yamagata.lg.jp/) <http://www.city.yamagata-yamagata.lg.jp/>